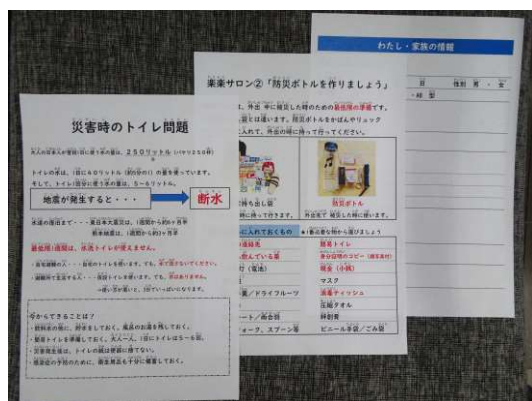


【新企画『楽楽サロン』がスタート／新企画「乐乐沙龙」开始了】



日本語で学びながら楽しく交流する新企画、『楽楽サロン』が、今年から始まりました。

1月25日の第1回は「気軽に抹茶を楽しむ」と題して、講師から茶道の基本的な作法を学び、抹茶を楽しみました。最初に抹茶の健康への効能、茶道具の名前などの説明を受けた後、和菓子をいただくことから実習がスタート。茶碗の扱い方、抹茶の飲み方・点て方を習ってから、一連の流れを一人ひとり体験しました。参加者からは「抹茶は苦い、と思っていたが、意外においしかった」との声も聞かれました。講師から「今は抹茶をいただく機会が本当に少なくなりました。だからこそ、自宅へのお客様を抹茶でおもてなしすると、とても喜んでくれますよ」とのコメントもありました。第2回は2月29日で、「防災ボトルを作ろう」がテーマ。まず、巨大地震など大災害発生後の生活の困難、特に断水時のトイレの問題とそのための備え（簡易トイレの作り方など）について話し合いました。そして講師が、服用中の薬・ティッシュ・笛・身分証明書コピー・小銭など常に持ち歩くべきものを入れておく「防災ボトル」を紹介し、自宅に備えるべき「非常持ち出し袋」との機能分担について説明しました。年始に発生した能登半島地震では、被害が長く続いているだけに、参加者は講師の説明に真剣に耳を傾けていました。3月14日の第3回は、日中の春の歌を楽しみました。

从今年起又新企划了一边学习日语一边愉快交流的『乐乐沙龙』。于1月25日举办了第一回，以「轻松享受抹茶」为主题的讲座。讲师讲解了茶道的基本礼仪，并品尝了抹茶。最初介绍了抹茶的健康功效和茶道器具的名称，再从品尝甜点开始进行实践操作。学习了茶碗的使用方法，抹茶的饮用方法・冲泡抹茶，让每位参加者都一一体验了这个过程。一位参加者说：「我以为抹茶会很苦，但没想到很好喝」。讲师评论道：「现在，享受抹茶的机会非常少。正是因为这样，如果能用抹茶招待您的客人，他们会很高兴的。」

第二回活动是在2月29日举行的，主题为「让我们一起制作防灾瓶吧」。

首先，谈到了大地震等重大灾害后的生活困难，特别是停水期间的厕所问题以及应对这种情况的准备（例如如何制作简易厕所等）。讲师随后又介绍了便于随身携带的「防灾瓶」，里面放入如正在服用的药品・纸巾・口哨・身份证复印件・零钱等物品，并解释了这与家里应该备有的「应急包」之间的功能划分。鉴于年初发生的能登半岛地震所造成的长期损害，学员们都聚精会神地聆听讲师的讲解。

3月14日的第三场，一起欢唱了日中两国春天的歌曲。

★今後の主な行事予定／今后的主要行事预定 8月2日(金／星期五) 夏のお楽しみ会／夏天的联欢会

編集後記

気象庁の長期予報によると、今年の夏も全国的に平均気温が平年より高くなる見込みで、昨年より暑くなる可能性もあるとのこと。「早めの熱中症対策」が呼びかけられています。

編 后 记

据日本气象厅长期预测，今年夏季全国的平均气温预计会高于往年，有可能还会比去年热。呼吁大家「要及早采取措施预防中暑」。



東海・北陸
支援・交流センターだより

东海・北陆
支援・交流中心通讯

しゃがいなくし ほうじん あいち けんこうせい じぎょうだん
社会福祉法人 愛知県厚生事業団
とうかい ほうりくちゅうごくこくしあしきん こうりゆう せん たー
東海・北陸中国帰国者支援・交流センター

〒461-0014 名古屋市東区榑木町 1-19
日本棋院中部会館 6 階

☎(052)954-4070 Fax(052)954-4071

☎(052)954-4066(中国語可)

E-mail:toukai-hokuriku-ce@ai-kou.or.jp

Homepage:http://www.ai-kou.or.jp

【4月期通学課程・定期交流事業スタート／4月期通学课程 定期交流事业开学】



令和6年度4月期の日本語教室通学課程・パソコン教室が、4月5日に開講しました。また、定期交流事業も2日から始まりました。久しぶりに通所を再開した80歳代の受講者や、初めて通所する帰国者2世もあり、「久しぶりだね!」「よろしく…」などの声が聞かれました。



令和6年度4月学期の日语教室和电脑教室已于4月5日开课。定期交流事业也于4月2日开始了。其中有80多岁好久没来的归国者又重新来到中心，也有2代归国者初次来中心学习，听到他们互说“好久不见!”，“请多多关照……”之类的话！

【2月25日 市民向け講座『本場中国の水餃子を作って食べよう』を開催／面向市民讲座「一起包饺子，品尝地道的中国饺子」】



中国帰国者への理解を深めること等を目的として、名古屋市東生涯学習センターとの共催により、名古屋市民向け講座『本場中国の水餃子を作って食べよう』を開催しました。公募から抽選で選ばれた15名の受講者を前に、中国東北部の主食である水餃子の作り方を実演した後、11名の帰国者がマンツーマンで丁寧・親切に調理方法を指導し、質問に答えました。受講者からは、皮は粉から、餡はブロック肉から作る帰国者の手際の良さに、歓声が上がっていました。完成後、受講者と帰国者が一緒に水餃子を試食し、日本語での会話を楽しみました。



为了加深对中国归国者的理解为目的，与名古屋市东生涯学习中心共同举办了面向名古屋市民『一起包饺子，品尝地道的中国饺子』的讲座。在从公开征集中抽签选出的15名参加者面前现场演示了中国东北地区的主食一饺子的烹饪方法后，11名归国者认真、亲切地一对一传授烹饪方法，并回答了他们提出的问题。归国者从用面粉做皮开始，用肉块做馅料的灵巧手艺让参加者欢呼雀跃。做完后，参加者和归国者一起品尝了水饺，并用日语进行了愉快的交流。